

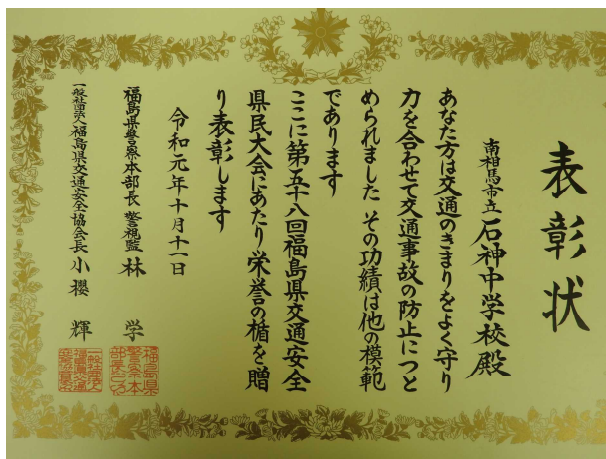
# 石神中学校だより12号

発行日：令和元年10月17日

2019重点目標<目標を持ち、共に高め合い、夢の実現のためにやり抜く生徒> 文責：校長 佐藤恭司

## 第58回福島県交通安全優良学校賞受賞しました

10月11日福島市パルセいいざかを会場に第58回福島県交通安全県民大会が行われ、本校が福島県交通安全優良学校賞に選ばれました。本校は今年度5月に南相馬警察署及び相馬地区交通安全協会より地区の交通安全優良学校賞を受賞しましたが、さらなる受賞に喜びを隠しきれません。昨今、中・高校生によるスマホ片手の運転により歩行者と衝突を起し、死亡事故や重傷事故の報告が後を絶ちません。私たちは、今回の受賞を励みに、全校生徒・教職員が交通安全への意識の高揚と安全運転・事故対応など自覚と責任ある行動がとれるようにしていきます。



## 放射線教室を行いました

獨協医科大学 RI センターの高橋克彦先生を講師に迎え、1年生を対象に放射線教室を行いました。原子と原子核、放射線に関する基礎知識、放射線による影響など、具体的かつ分かりやすくお話をいただきました。放射線は自然界にも存在し、正しい知識と判断力を持って生活することも知りました。生徒から質問が出るなど放射線への興味・関心の高さが伺えられました。



## 落語口演会開催

三重県津市生まれ、在住の切瑳亭琢磨さん(本名 石崎豊さん)による落語口演会が行われました。切瑳亭琢磨さんは32年間教員を務めた後、本の出版や新聞の随想執筆、講演活動を続けています。40年にわたる落語歴より、東日本大震災後は福島県や宮城県、岩手県などで落語のボランティア活動を行っています。教員の経験から、生徒の心情をつかむのはさすがで生徒らは落語の世界に導かれていました。



## <石神中学校ホームページのご案内>

石神中学校ホームページでは本校の身近な情報や「学校だより」、「保健だより」などを紹介しています。特に「学校だより」など配付物はモノクロですがHPはカラー版となっており、見やすくなっています。お時間があるときには是非ホームページもご覧になって頂ければ嬉しいです。

## 新用務員さんです



10日より勤務しています新用務員の松浦満清(まつらみつき)さんです。どうぞよろしくお願いいたします！

## 文化祭の成功に向けて！



10月26日(土)の校内文化祭に向けて、生徒会及び実行委員会、全校生が連日準備に励んでいます。また、各学級では合唱コンクール最優秀賞を目指し、練習している光景が見られています。

### 子どもたちに伝えたい名言とことわざ⑩

子どもたちが考え、生活に生かす名言やことわざを紹介していきたいと思えます。ご家庭でも話題にしていただければと思います。

#### 【聞くは一時の恥 聞かぬは一生の恥 きくはいつきのはじ きかぬはいつしょうのはじ】

知らないことを人に聞くのは少し恥ずかしいことですが、そのまま知らないでいると、一生恥ずかしい思いで生活することになるという教えです。一時の恥など恐れずに、進んで教えてもらう方が良いのです。思い切って聞くことが出来る勇気を持ちましょう。同じ意味を持つことわざには、「聞くは一時の恥 聞かぬは一生の損」「聞くは一時の恥 聞かぬは末代の恥」などもあります。

### 最近の教育用語について⑧

近年、社会及び教育環境の変化に伴い、様々な新しい教育用語が出てきております。そこで、学校だよりの中で、出来るだけわかりやすく紹介させていただきます。

#### 【特別支援教育】

特別支援教育は、2007年(平成19年)4月から学校教育法に位置づけられ、「障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、幼児児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うもの。」とされました。これまでの特殊教育の対象の障害だけでなく、知的な遅れのない発達障害も含めて、特別な支援を必要とする幼児児童生徒が在籍する全ての学校において実施されるものです。

### ねがい⑩ 「ツーリングと新そば2019」

趣味のツーリングの目的の一つに、行く先の美味しいものを食べるというのがあります。9月末の休日、行列の出来る「そば店」での出来事です。並んでやっと店に入ることができ、カウンターで新そばの出来上がるのをじっと待っていたとき、両親と小学6年生か5年生の男の子、家族3名の姿が見えました。両親は話しに夢中、少年は携帯ゲームに夢中です。その時、3名の家族の元に頼んだそばが運ばれてきました。両親はさっそく熱々のかけそばを食べ始めましたが、少年はゲームをやめません。そばがのびる、冷めるのではと他人事ながら気になってきました。両親はゲームに夢中な少年に注意はしません。4～5分たった頃、ようやく少年がそばに向かう姿に安堵しました。そば店での出来事にすぎませんが、「なぜ、親は注意しないのか不思議で仕方ありませんでした。」そんな時、自分が頼んだざるそばが運ばれてきたので、新そばの香りと歯ごたえを感じながら秋の味覚を味わい帰ってきました。家族で顔を合わせているときや食事をしているときぐらいは、携帯スマホ・ゲームをしない家族の約束が欲しいと思った光景でした。今度は“美味しいラーメン”を探すツーリングに出かけようと思います。

